

デジタル
トランスフォーメーション
推進計画



医療法人社団 仁誠会
2025年9月

目次

- 1 代表メッセージ
- 2 D X 計画の全体像
- 3 D X ビジョン
- 4 D X 戦略
- 6 人材・IT環境整備
- 7 指標
- 5 D X 推進体制

1

代表メッセージ

昭和56年8月に熊本黒髪内科医院を開設して以来、私たちは長年にわたって培われてきた歴史と経験を大切にしながら、それを現在の医療・介護の現場に活かしています。スタッフ一人ひとりが自ら考え、行動できる力を育む環境がここにはあります。しかし近年、デジタル技術の急速な進展により、医療・介護業界を取り巻く環境は大きく変化しています。こうした技術の導入は、業務効率の大幅な向上をもたらし、患者さんや利用者さんに対して、より高品質なケアを提供することが可能になります。これは、柔軟で持続可能な未来を築くための重要な鍵となります。私たちは、患者さん・利用者さん・ご家族・地域社会、そして職員が互いに支え合い、あたたかく、優しく、思いやりのある医療・介護を提供できるよう、これからも進化を続けてまいります。



理念

心ひとつ

デジタルトランスフォーメーション推進計画

デジタル技術を活用し、患者さん・利用者さん・家族・地域との信頼とサービスの更なる向上を目指します。

デジタル技術を活用したビジネスモデルの方向性

- デジタル技術と医療・介護の技術を融合させ、患者さん、利用者さん中心のケアによる健康維持と生活の質の向上及び、快適な透析ライフを提供
- デジタル技術により単純作業や人の手で行う必要のない業務を省力化することで、職員に成長と挑戦の機会を付与しやりがいのある仕事を提供
- 医療や介護等のデータ活用により持続可能な画一的な安全管理の実現とデジタル移行による人材不足への対応を促進

戦略①

患者さん利用者さん満足度向上

戦略②

職員満足度向上

戦略③

運営資源の維持

DX推進委員会

人材育成・確保の施策

- ・ AI講座修了証取得：2名（文部科学省委託事業）
- ・ デジタル活用勉強会 3回/年
- ・ AI活用勉強会 2回/年

IT環境の施策

- ・ 社内システムのクラウド移行
- ・ セキュリティ対策
- ・ ネットワーク監視の強化



DXビジョン

デジタル技術を活用し、患者さん・利用者さん・家族・地域との信頼とサービスの更なる向上を目指します。

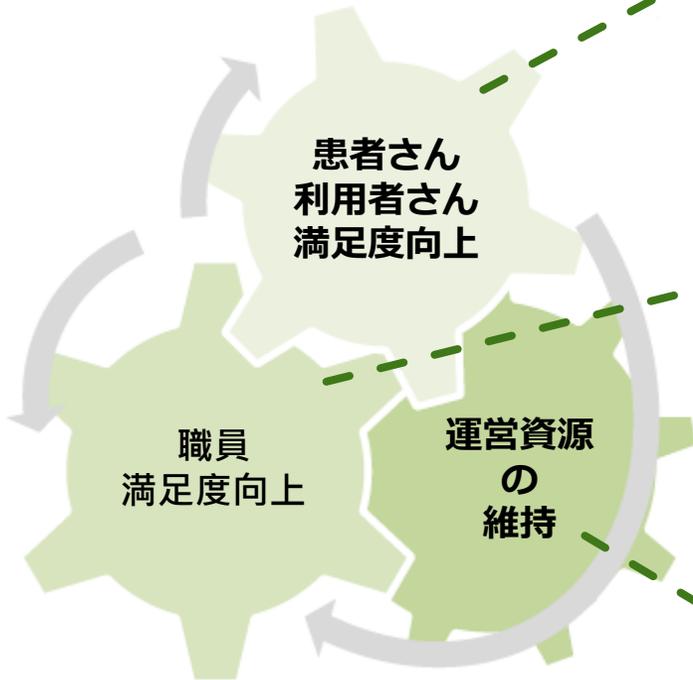
デジタル技術を活用したビジネスモデルの方向性

- デジタル技術と医療・介護の技術を融合させ、患者さん、利用者さん中心のケアによる健康維持と生活の質の向上及び、快適な透析ライフを提供
戦略①患者さん利用者さん満足度向上
- デジタル技術により単純作業や人の手で行う必要のない業務を省力化することで、職員に成長と挑戦の機会を付与しやりがいのある仕事を提供
戦略②職員満足度向上
- 医療や介護等のデータ活用により持続可能な画一的な安全管理の実現とデジタル移行による人材不足への対応を促進
戦略③運営資源の維持

DX戦略

DXビジョンを実現する戦略

DX



戦略①患者さん利用者さん満足度向上

- ①-1.AI活用による患者さん、利用者さんのCX向上
- ①-2.デジタルチャネルによる連携

戦略②職員満足度向上

- ②-1.バックオフィス業務の自動化・AI活用による業務効率化
- ②-2.抱えないケアの推進

戦略③運営資源の維持

- ③-1.セーフティ&セキュリティ戦略
- ③-2.ナレッジマネジメントの構築

DX戦略

DXビジョンを実現する戦略①

患者さん利用者さん満足度向上

AI活用による患者さん、利用者さんのCX向上

AI技術を活用することで、患者さん一人ひとりに合わせた**健康情報を分かりやすく作成・提供**し、透析治療への積極的な参加を促します。また、**検査結果を迅速かつ正確に通知**できる仕組みを導入することで、利便性の向上と自己管理の支援を図り、日々の自己管理をより効率的に行えるようにします。

デジタルチャネルによる連携

患者さん・利用者さん・ご家族・職員の間で、**情報端末を活用したコミュニケーションツールを導入**します。これにより、**事前問診**を通じて医療・介護の情報伝達がより効率的になり、迅速かつ的確なケアの提供が可能になります。また、医療職と介護職が同じ情報を共有し連携を深め、チームとして互いに協力する質の高いケアを実現するための基盤にします。さらに、地域の皆さまに向けて、当法人の取り組みをWebサイトやSNSを通じて継続的に発信し、情報の透明性と地域とのつながりを強化していきます。

DX戦略

DXビジョンを実現する戦略②

職員満足度向上

バックオフィス業務の自動化・AI活用による業務効率化

AIやRPAを活用した社内向けチャットボットを導入し、議事録作成、マニュアル作成/検索、教育資料作成を効率化。業務負担を軽減し職員の生産性向上を支援します。さらに、業務データの分析により、作業の自動化と最適化を実現し、迅速な意思決定を促進します。

抱えないケアの推進

介護ロボットやパワーアシストスーツの導入により、職員の負担を軽減し、より質の高いケアを提供します。これらのデジタル技術の活用で「かっこいい介護」を実現するために、利用者と職員双方の安全と満足度を高めることで、サービスの向上に貢献します。

DX戦略

DXビジョンを実現する戦略③

運営資源の維持

セーフティ & セキュリティ戦略

電子カルテや検査、介護データを一元化し、**RPAで透析条件や薬剤情報をデータベース化・自動保存**。臨床データ活用に加え、AIによる災害時の個別透析対応やBCP体制の強化を実現します。

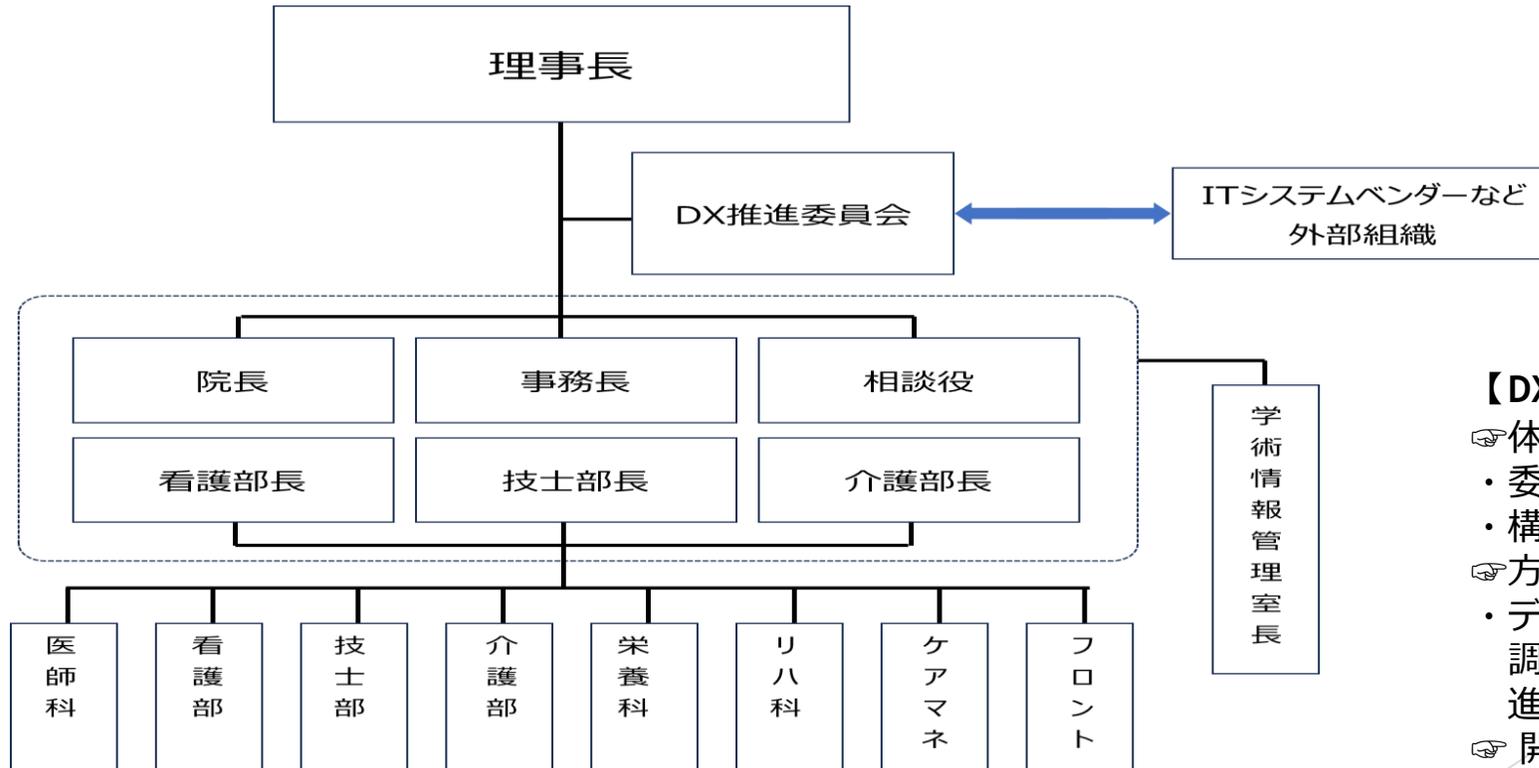
ナレッジマネジメント

ガイドラインやマニュアル、手順書、文献などを**AIで整理・活用**することで、現場の専門性を高め医療介護の質を向上させます。知識の共有によりどのスタッフも一定水準以上の技術を取得することが可能となります。また人材不足への対応にもつながり継続的な教育や職場の魅力向上を促進します。

DX推進体制

DXビジョンを実現する体制・運営

理事長直下にDX推進委員会を設置し、各部署の関係者が協力してDX推進に取り組みます。



【DX推進委員会概要】

- 👉 体制
 - ・委員長：理事長
 - ・構成員：相談役、部長、事務長、室長
- 👉 方針
 - ・デジタル技術に関連する審議調査・研究、企画・提案等について、DX推進計画の実現に向けた施策と進捗の確認
- 👉 開催
 - ・月1回

人材とIT環境整備

下記の人材・IT環境整備によりDX戦略を推進します。

IT人材の育成・確保

- ・ AI講座修了証取得（文部科学省委託事業）
- ・ デジタル活用勉強会開催
- ・ AI活用勉強会開催

IT環境整備の施策

- ・ クラウド活用
 - 社内システムのクラウド移行に向けた環境整備
 - データ保管サーバのクラウド移行
 - 紙帳票の更なるデジタル化、クラウド移行
- ・ セキュリティ対策
 - 端末のセキュリティ強化
 - ネットワーク監視の強化
 - 顧客データのプライバシー保護とセキュリティ確保

指標と評価

次の指標によりDX計画の推進状況を管理

戦略①

患者さん、利用者さん
アンケート調査
年1回実施

戦略②

職員アンケート調査
年1回実施

戦略③

データ活用事例件数

人材育成

- ・ AI講座修了証取得（文部科学省委託事業）：2名
- ・ デジタル活用勉強会 3回/年
- ・ AI活用勉強会 2回/年

DXビジョンの実現

デジタル技術を活用し、患者さん・利用者さん・家族・地域との信頼とサービスの更なる向上を目指します。